

保育とデジタル

—その役割と可能性—

Digital in early childhood
education:
its role and potentiality.

2020年9月26日(土) 16時~19時
Zoom (お申しいただいた方に、個別にご連絡します)

企画趣旨 近年、保育におけるデジタル活用への関心が高まる中、その可能性や課題について、さまざまな議論が行われています。子どもの育ちや学びに資するものとして、デジタルにはどのような可能性があるのでしょうか。本シンポジウムでは、乳幼児期のデジタル活用に関する研究を推進してこられたMarilyn Fleer先生(オーストラリア)と、デジタルを使った先駆的な保育実践を営んでおられるLouise Lowings先生(イギリス)をお招きし、最新の内容をご講演いただきます。また、日本の文脈からの討論をふまえ、デジタル活用の可能性や課題について議論し、考える時間になりたいと思います。

本シンポジウムは、オンラインで開催します。みなさまのご参加を、お待ちしております。

プログラム

司会：野澤 祥子（発達保育実践政策学センター准教授）

開会挨拶 遠藤 利彦（発達保育実践政策学センター センター長）
東 重満（全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長）

講演1 デジタルを活用した遊びとツール：乳幼児教育施設での実践研究から
Marilyn Fleer氏（オーストラリア モナシュ大学教授）



Prof. Marilyn Fleer

講演2 ‘We Think Everywhere’
- デジタルツールを使って世界を探索する子どもたちの話
Louise Lowings氏（イギリス Madeley Nursery School 園長/
“We Think Everywhere” (ICT for Preschools)メンバー）



Ms. Louise Lowings

指定討論 東 重満（前掲）
秋田 喜代美（東京大学大学院教育学研究科長）

～パネルディスカッション～

閉会挨拶 浅井 幸子（発達保育実践政策学センター 副センター長）

参加費無料
同時通訳
あり

お申込み先（先着500名）

以下の参加申込フォームより、事前参加登録をお願いします。（お一人ずつお申込みください）

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/19318/>

※ 参加申込への自動返信メールにて、当日のZoomのURLのご案内をお送りします。届かない場合は、迷惑メールフォルダをご確認の上、ない場合は、下記よりお問い合わせください。
当日の資料は、シンポジウム終了後、Cedepウェブサイトに掲載します。



【お問い合わせ】

お問い合わせフォーム：

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/contact-20200926symposium/> →



※ お返事までに、数日お時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。